



三位勲二等山口尚芳勲位進叙

ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治廿七年六月十二日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

山口



三位勲二等山口尚芳勲位進敘

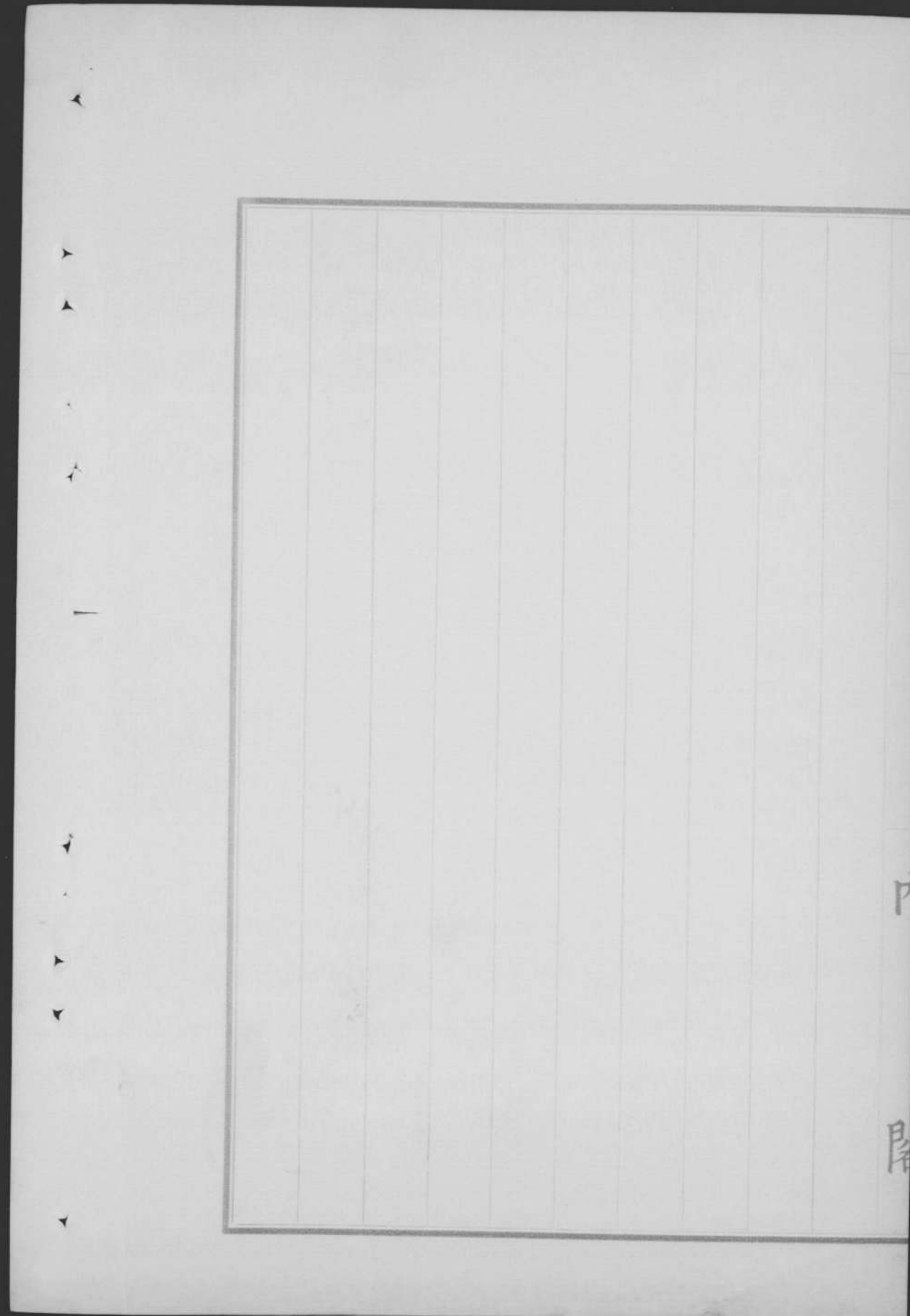
ノ件

右謹テ裁可ヲ仰ク

明治廿七年六月十二日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文

山口尚芳



0000 0500

賞勳局第七九號

記内閣勳章第一〇六號

六月十三日裁可

明治二十七年六月十一日

内閣總理大臣

賞勳局總裁



正三位勲二等山口尚芳勳位進叙
之儀別紙之通議定候條此段允裁
ヲ仰

内閣

明治廿七年六月十一日

賞勳局總裁

書記官

松本

長

勳

勳

勳

議定官

否

可

由小島

正三位勲二等山口尚芳勲位

進叙議案

右ハ會計検査院長兼議官奉職中明治十四年七月現勲等ニ叙セラレ以来多

賞勳局

事院議官及元老院議官ヲ歴任シ議

法ニ励精シ功勞ヲ著シ以內閣總理大

臣勲位進叙ヲ奏請セリ依テ審按ス

ルニ其成績顯著叙勲ハ則チ第五條

ニ該當スルモノト認ム即チ勲等ヲ擬

議スル左ノ如シ

進叙勲一等賜瑞寶之章

正三位勲二等山口尚芳

右明治十四年七月會計検査院長兼議官奉職中勲二等、叙せられ、爾後参事院議官及元老院議官、在る廿三年十月元老院議長廣子九十年餘議法に勵精し勲勞不少、いさうの同人、明治元年三月外國事務局御用掛、出身以來大坂府判事、試補、級士、越後府判事、大藏大丞、外務少輔等、教官に歴任し勲任に及ぶ、在るコト廿二年解し、實に成績顯著、久しう有特、勲一等に進められ、及此、及申降也

明治廿七年六月十日

内閣総理大臣伊藤博文



賞勳局長、裁任、爵西園寺公望殿